

小・中学校不登校総合対策 (H27)

現状と課題

【現状】(H26公立校)
●不登校の出現数、出現率
小学校… 255人、0.53%
中学校… 889人、3.45%

【課題】
●不登校問題における未然防止体制の強化

未然防止、早期発見・早期対応
復帰支援

○不登校を生まない集団づくり
・リーフレットを活用した校内研修の実施

○公立小・中学校生徒指導主事会
・県内6地域で開催

○ピアサポート研修(教職員対象)
・人間関係形成能力やコミュニケーション能力の向上
・児童会や生徒会活動等の活性化

○中学生熟議(中学生対象、県内2会場)
・グループ協議をとおした人間関係づくり

○小学生リーダー研修(小学生対象、県内5会場)
・グループ協議をとおした人間関係づくり

不登校を生まない集団づくり

○欠席状況把握シート
・欠席5日以上の児童生徒の状況把握
・学校対応状況の把握

実態把握

○市町村教育委員会訪問
・不登校児童生徒のヒアリング
・教育委員会への支援及び指導助言

○市町村立学校への要請訪問
・市町村教育委員会と連携した学校支援及び指導助言

指導支援

○スクールカウンセラーの配置
・小学校87校 中学校105校

○スクールソーシャルワーカーの配置
・22市町

○「学びの丘」教育相談主事による教育相談
・県内6カ所の来所相談、教育相談主事等の派遣

教育相談

平成27年度不登校対策に係る有識者会議

本県がめざす姿

- 不登校児童生徒の出現数・出現率の減少
- 学校復帰率の向上
- 不登校を生まない学校づくり
- 学校・家庭・地域・関係機関が連携した組織的な取組